

体位変換付き
高機能エアマットレス

オスカー

【ハイブリッドタイプ】

取扱説明書



安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に取扱説明書を確認の上、正しくお使いください。確認後は、本取扱説明書を大切に保管してください。また利用者様の身体状況や環境が変化した場合には、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談し適切な処置を受けてください。

安全上の注意 必ずお守りください

①利用者様や他の人への危害・財産への損害などを未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠ 警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠ 注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

!：必ず実行していただく「強制」を意味します。

はじめに

- 安全上の警告・注意事項……P1
- 各部の名称 ……………P3

設置するときに

- 製品の持ち方 ……………P4
- 設置の方法 ……………P5

使用するとき

- リモコンの操作および機能の説明
【Aタイプ】 ……………P7
【Bタイプ】 ……………P13

このようなときに

- ポジショニングケアの方法 ……………P19
- 緊急時の対応方法 ……………P19
- 停電時の対応方法 ……………P19
- 故障かなと思ったら ……………P20
- 注意ランプの光り方
【Aタイプ】 ……………P22
【Bタイプ】 ……………P25
- セルフチェックモード
【Aタイプ】 ……………P22
【Bタイプ】 ……………P27

お手入れのときに

- お手入れの方法 ……………P29
- 点検チェックシート ……………P30
- フィルターの交換方法 ……………P31
- 保管の方法 ……………P31
- 電源コードおよびリモコンコードの収納方法 ……………P31

仕様

- 仕様 ……………P32



警告

はじめに

- ① 本来の目的以外に使用しないでください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。
- ② 使用中、体に異常を感じたり、不安を感じた場合には直ちに使用をやめ、医師や看護師、福祉用具専門相談員などの専門の方に相談してください。
- ③ 電源の電圧および許容電流値に注意してください。
本製品は国内専用AC100V、58Wです。故障や発熱による事故につながるおそれがありますので、海外での使用やタコ足配線など許容を超える接続をしないでください。
やむを得ず発電機を使用する場合は、出力波形が家庭用電源（正弦波）に近いインバータ式をご使用ください。
なお、発電機の使用による製品の故障・破損については、当社は一切の責任を負いかねます。

設置するとき

- ④ ベッドで使用する場合は、安全のため必ずサイドレールを使用してください。
また、マットレス上面より高さ22cm未満のサイドレールは使用しないでください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれがあります。
- ⑤ マットレスの頭側・足側を間違えないでください。
自動体位変換の位置が変わるため、転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化が起こるおそれがあります。
- ⑥ 電源プラグは確実にコンセントに接続してください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑦ 電源プラグを濡らしたり、燃えやすい物を近くに置かないでください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑧ 電源コードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。
- ⑨ タコ足配線はしないでください。
故障や発熱による事故につながるおそれがあります。
- ⑩ 熱い物の近くに置かないでください。
火災・変形・破損につながるおそれがあります。
- ⑪ ベッドや機器類のキャスターなどで電源コードやリモコンコードをはさまないでください。
感電や火災につながるおそれや故障の原因になります。

使用するとき

- ⑫ ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げを行わないでください。
サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。
- ⑬ マニュアルモードで「超ソフト」や「除圧重視」を使うときは、ベッドの背上げをしないでください。
お尻の圧が高くなる原因となります。
- ⑭ マットレスの中心からずれて使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故の原因になります。やむを得ない場合は、除圧効果や体位の崩れなど安全を確認の上、使用してください。
- ⑮ エアポンプやリモコンに水やその他液体をかけたり、濡れた手で触ったりしないでください。
感電や故障につながるおそれがあります。
- ⑯ 電源プラグのほこりなどを放置しないでください。
感電や火災につながるおそれがあります。
- ⑰ エアポンプやリモコンの改造はしないでください。
発火や異常動作などにより事故やケガをするおそれがあります。
- ⑱ 体位変換機能を使用する場合は、利用者様周辺および取り付けられているコードやチューブなどからまったり、引っ張られるような負荷を掛けたりしないでください。
思わぬ事故やケガをまねくおそれがあります。
- ⑲ 電源プラグを挿したまま、エアポンプをお手入れしたり長期間放置しないでください。
感電・火災・故障の原因になります。

仕様

⚠ 注意

設置するとき

- ① 本製品の上に厚手のマットレスやパッドを使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故や故障の原因になります。
- ② オスカーのマットレスとエアポンプに他の製品を組み合わせ使用しないでください。
本来の性能が発揮されず、思わぬ事故や故障の原因になります。【ハイブリッドタイプ】と【エアタイプ】は互換性がありません。
- ③ インナー保護フィルムは取り外さず、そのままの状態で使用してください。
ファスナーを開け閉めする場合は、インナー保護フィルムを挟み込まないよう注意してください。
インナー保護フィルムは2020年10月～2025年12月の製品に標準装備されています。

使用するとき

- ④ リモコン操作は、製品をよくご理解の上行ってください。
- ⑤ むれ対策で多汗症(疾病により汗が多い)の方は、気化熱により体温が低下する場合がありますのでご注意ください。
むれ対策は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や冷房機能ではありません。
- ⑥ 使用する室内環境(室温や湿度)や利用者様の体調・体質(汗や体温)の違いにより、寝床内温度が変化しますのでご注意ください。
- ⑦ 他の暖房器具を併用する場合は、やけどや低温やけどにご注意ください。
- ⑧ 発汗による脱水症状にご注意ください。
ひえ対策は、エアマットレス特有の弱点を対策するための製品仕様の一部で、温度調整機能や暖房機能ではありません。
体や寝床を温める必要がある場合は、別途暖房手段をとってください。ひえ対策の効果が出るのは、布団をかけていることが条件となります。
低温やけどは一般的に40℃、2時間以上で症状が出ると言われてしています。

注意

使用するとき

- ① マットレスの上や下に突起物を置かないでください。
マットカバーの破れなどの原因になります。
- ② リモコンコードを無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。
破損するおそれがあります。
- ③ リモコンやマットレスを落下させたり、ぶつけたりしないでください。
エアポンプやリモコンの故障や損傷、寿命低下の原因になります。

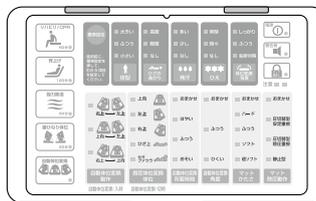
お手入れするとき

- ④ マットレスを持ち運ぶ場合や保管時には、電源コードとリモコンを収納袋に入れてマットレス内におさめてください。
落下やほこり、静電気などにより故障するおそれがあります。
- ⑤ マットレスを折り曲げた状態で保管しないでください。
ウレタンフォームが変形するおそれがあります。
- ⑥ 浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
サビ・カビの発生や故障の原因になります。
- ⑦ メンテナンス目的以外でマットレスを分解しないでください。
破損や故障などの原因になります。
- ⑧ フィルター交換の目安は1年となります。
フィルターが目詰まりすると、エアポンプの性能が低下したり、寿命が短くなるおそれがあります。

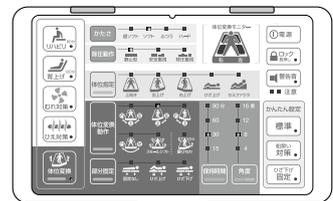
保証書・仕様

- ⑨ マットレスへの荷重は150kgまでです。
150kgを超えると、マットレスの破損や故障の原因になります。
- ⑩ リモコンには【Aタイプ】・【Bタイプ】があります。

■Aタイプ



■Bタイプ

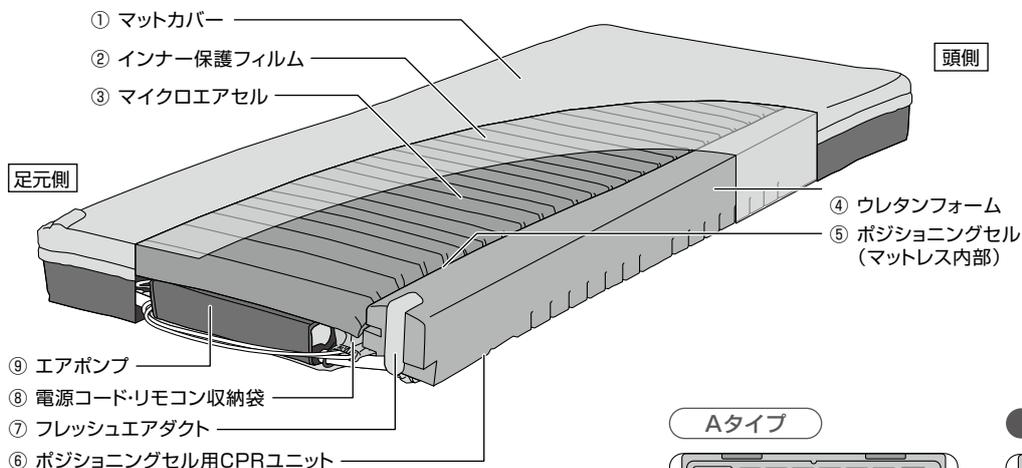


各部名称

以下の部品が全てそろっているか、破損・変形などしていないかを確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

2020年12月以前

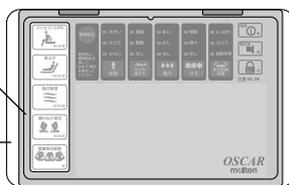
※マイクロエアセルが「横1本形状」



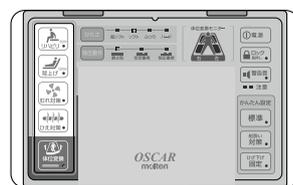
※インナー保護フィルムは取り外さず、そのままの状態で使用してください。
※インナー保護フィルムは2020年10月～2020年12月の製品に標準装備されています。
※ファスナーを開け閉めする場合は、インナー保護フィルムを挟み込まないよう注意してください。

- ⑩ 誤操作防止カバー
- ⑪ リモコン本体
- ⑫ リモコンコード

Aタイプ

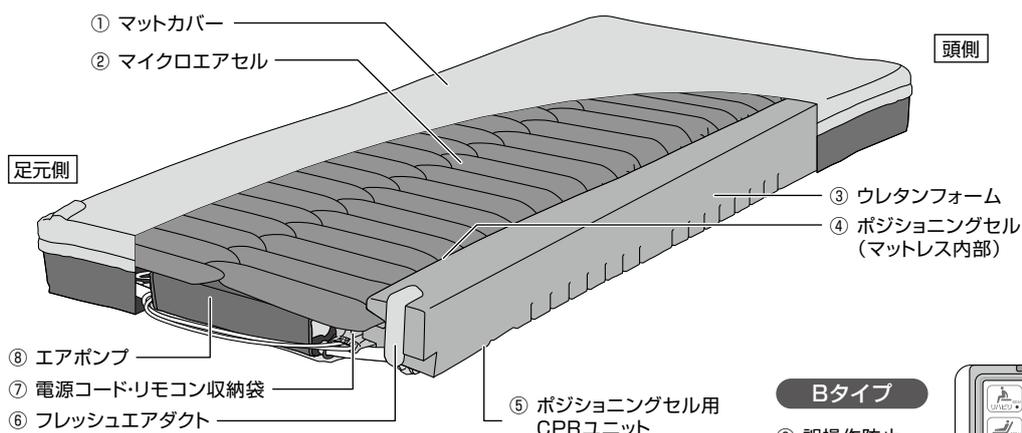


Bタイプ



2021年1月以降

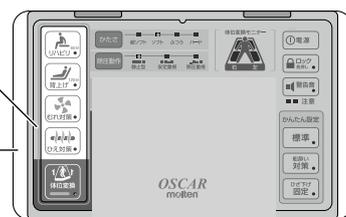
※マイクロエアセルが「左右分割形状」



※2021年1月～2025年12月の製品にはインナー保護フィルムが標準装備されています。
ファスナーを開け閉めする場合は、インナー保護フィルムを挟み込まないよう注意してください。

Bタイプ

- ⑨ 誤操作防止カバー
- ⑩ リモコン本体

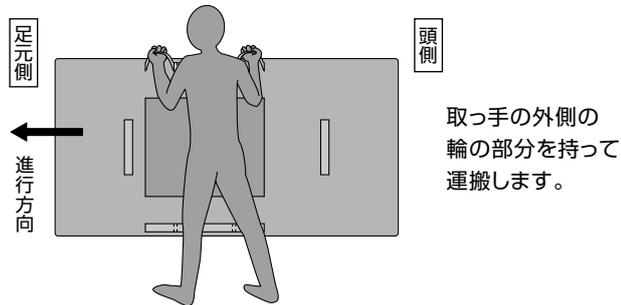


- ⑪ リモコンコード

製品の持ち方

運搬する場合は、下図のように取っ手を持ってください。

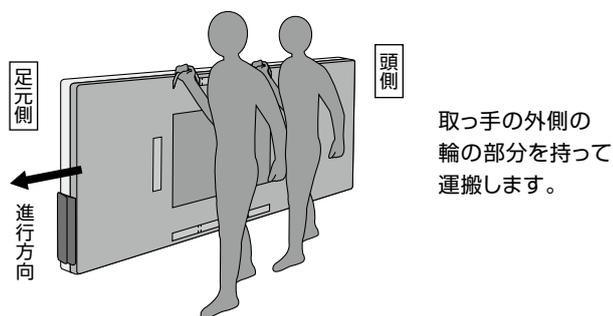
一人で運搬する場合



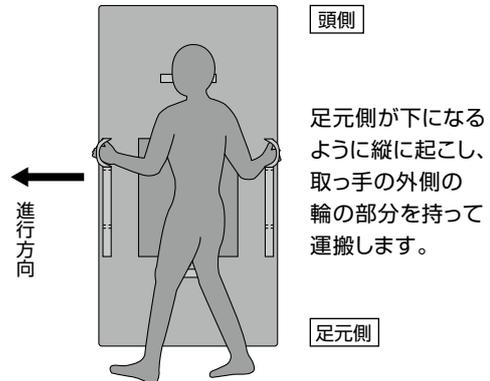
肩に掛けて運搬する場合



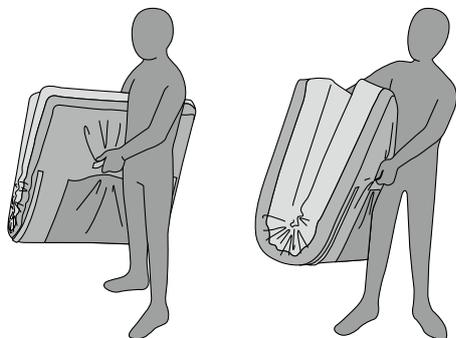
二人で運搬する場合



縦にして運搬する場合

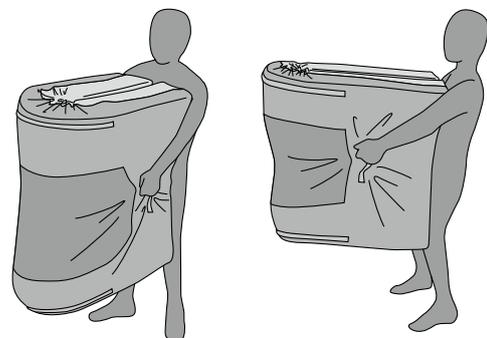


折り曲げて運搬する場合①



折り曲げて脇にかかえるように取っ手を持って運搬します。

折り曲げて運搬する場合②



折り曲げて体の正面に持って運搬します。

注意

運搬程度の短時間であれば、折り曲げても製品への影響はありません。

- ⊗ 内部のエアセルやエアホースの破損につながるおそれがあるので、マットカバーの表側を持って運搬しないでください。
- ⊗ エアホースが抜けるおそれがあるので、マットカバー裏側にあるエアホースを持って運搬しないでください。
- ⓐ 変形や破損のおそれがあるので、運搬・保管の際には落下させたり衝撃が加わらないよう十分に注意してください。

はじめに

設置するとき

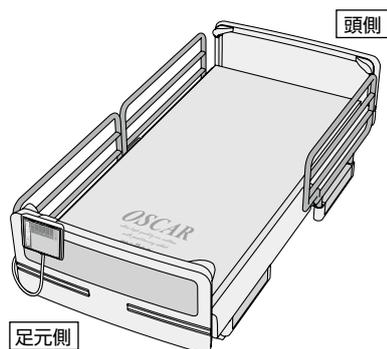
使用するときに

このようにときに

お手入れのときに

仕様

1 マットレス(エアポンプ内蔵)を設置します。



本製品はリプレイメントタイプ(ベースマットレス不要)です。
 ベッドで使用する場合は、ベッドの上に直接マットレスを置いてください。
 カバーの製品ロゴが表面、足元側です。

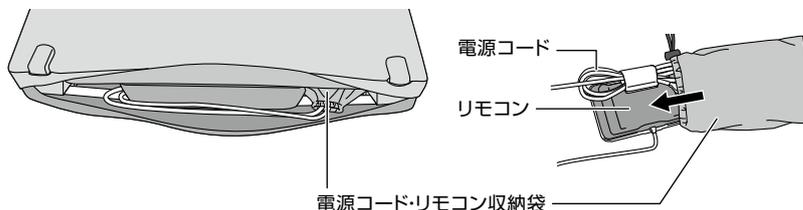


警告

- ① ベッドで使用する場合は、安全のため必ずサイドレールを使用してください。
- ② マットレスは必ず頭側と足元側を確認し設置してください。
 また、マットレスの表と裏を逆にして使用しないでください。
 音や振動が伝わり、寝心地を損なうおそれがあります。また、
 本来の性能が発揮されず、症状の悪化や思わぬ事故をまねく
 おそれがあります。

2 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋から取り出します。

- ① マットカバーを開いて電源コード・リモコン収納袋から電源コードとリモコンを取り出してください。
 取り出した後、電源コード・リモコン収納袋はマットカバー内に入れてください。



- ② 電源コードとリモコンを取り出した後、インナー保護フィルムを整え、マットカバーを閉めてください。

※電源コードとリモコンコードは、マットカバーのファスナーの端から出してください。

※電源コード・リモコン収納袋の口を絞る「ひも」がマットカバー内のホースに結ばれています。紛失しないためにも「ひも」をほどかないでください。

※インナー保護フィルムは取り外さず、そのままの状態で使用してください。ファスナーを開け閉めする場合は、インナー保護フィルムを挟み込まないよう注意してください。

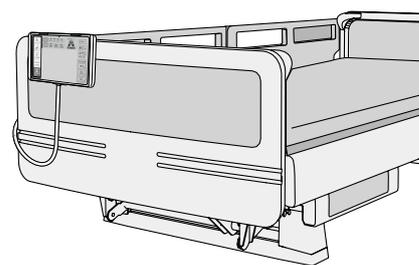
※インナー保護フィルムは2020年10月～2025年12月の製品に標準装備されています。

3 リモコンをフットボードに掛けます。

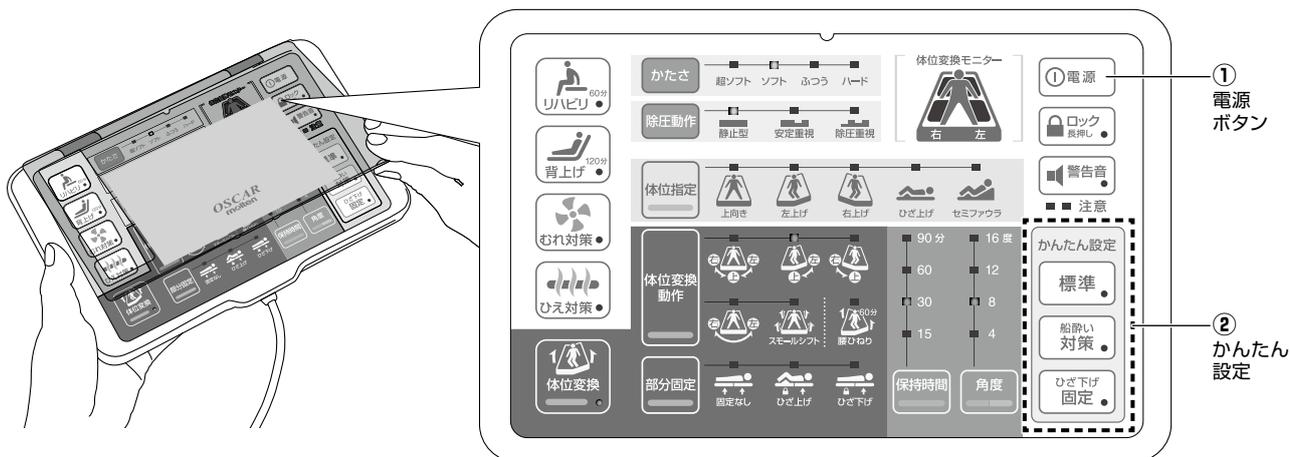
リモコン上部の吊り下げフックを、ベッドのフットボードに掛けてください。

注意

リモコンを寝床の中に入れて、暖房器具に近づけたりしないでください。リモコンには温度センサーが内蔵されており、ひえ対策が機能しなくなるおそれがあります。



4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れてください。

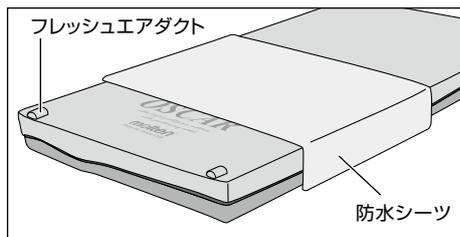


- ① 電源プラグをコンセントに差し込み、リモコン上面の誤操作防止カバーを開き、電源ボタンを押してください。
- ② リモコンの「標準設定【Aタイプ】」または「かんたん設定【Bタイプ】」ボタンを押し、マットレスを最適な状態に自動設定します。
 ※詳しい設定方法は【Aタイプ】P7または【Bタイプ】P13を参照してください。
 ※マイクロエアセルは約8分で空気がいっぱいになります。
- ① 使用中は必ず電源プラグをコンセントに差したままにしておいてください。

5 シーツを取り付けて完成です。

- 基準シーツ……………フレッシュエアダクトごと覆い、シーツの端を巻き込んでください。
- ボックスシーツ……………フレッシュエアダクトごとマットレス全体を包み込むようにかぶせてください。
- 防水シーツ……………フレッシュエアダクトを覆わないように取り付けてください。
 フレッシュエアダクトから空気が出ず、送風機能が発揮されません。

【防水シーツの場合】



フレッシュエアダクトを覆わないでください。
 ※基準シーツ、ボックスシーツおよび防水シーツは付属していません。

Aタイプのリモコンの説明はP7～P12となります。

(1)アセスメント&フィッティングモード(P8)

リハビリ/CPR 60分	標準設定 使用前に、標準設定を押し、右の5項目を設定してください。	大きい ふつう 小さい	体型	高度 軽度 なし	ひざの曲がり	多い 少し なし	発汗	常時 時々 なし	ひえ	しっかり ふつう 船酔対策	体位変換程度	電源	警告音	ロック長押し
背上げ 120分														
強力除湿 60分														
腰ひねり体位 60分														
自動体位変換														

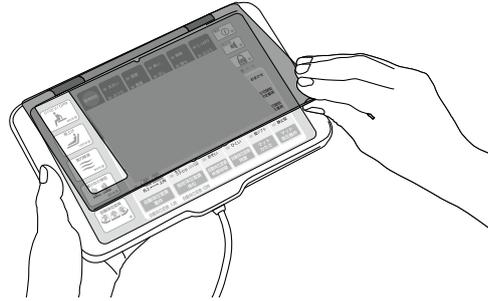
注意 ■ ■ ■

右上 ← 左上	上向	おまかせ	おまかせ	おまかせ	おまかせ
左上	左上	はい	ふつう	ハード	圧切替型安定重視
上向 ← 左上	右上	ふつう	ふつう	ソフト	圧切替型除圧重視
上向	ひざ上	おそい	ひくい	超ソフト	静止型
右上 ← 上向	セミファウル	自動体位変換所要時間	自動体位変換角度	マットかたさ	マット除圧動作

自動体位変換:入時 自動体位変換:切時

(2)アシストモード(P9)

(3)マニュアルモード(P10)



使い始め

電源



電源ボタンを押すと電源が入り、リモコン各部のLEDランプが点灯します。
 もう一度押すと電源は切れます。
 ※再度電源を入れ直した場合は、前回の設定状態となります。停電の場合も同様に、停電前の設定状態になります。

注意ランプと警告音



マットとポンプの異常をLEDランプの点滅と警告音でお知らせします。(P22参照)
 ※警告音【入】後、操作音がして警告音が作動する状態になります。
 ※出荷時は【入】になっています。音が出ない設定にする場合は、【切】にしてください。(LEDランプが消灯します)



操作ロック



認知症の人などによる誤操作を防止するために、リモコンのボタン操作ができないようにロックすることができます。
 ※ボタンを長押しすると操作ロックの設定・解除ができます。
 ※LEDランプが点灯しているとロックの状態です。

はじめに

設置するとき

使用するときに

このようになるときに

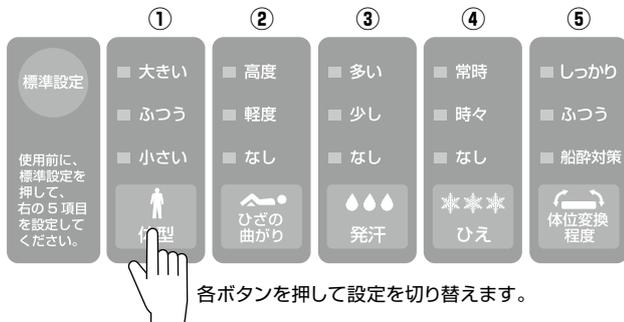
お手入れのときに

仕様

(1)アセスメント&フィッティングモード

リモコンの「標準設定」ボタンを押し、利用者様の①「体型」②「ひざの曲がり」③「発汗」④「ひえ」⑤「体位変換程度」の5つの項目を入力してください。

機械(エアマットレス)が自動で利用者様の身体状況に合った条件を判定します。



身体状況の入力

判定結果を入力すると自動的に最適な条件を設定してマットを制御します。

項目	条件設定	判定結果																																	
標準設定	—	全ての項目(マニュアルモード含む)が標準的な利用者様の設定になります。																																	
① 体型	【 大 き い 】	大柄な人、太めの人。(BMI : 25以上)																																	
	【 ふ つ う 】	ふつうの体型の人。(BMI : 18.5以上25未満)																																	
	【 小 さ い 】	小柄な人、やせの人。(BMI : 18.5未満)																																	
		「自動体位変換角度」と「マットかたさ」を利用者様の体型に合わせて自動調整します。																																	
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">体 型</th> <th rowspan="2">判定基準</th> <th colspan="5">身長毎の体重目安</th> </tr> <tr> <th>140cm</th> <th>150cm</th> <th>160cm</th> <th>170cm</th> <th>180cm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【 大 き い 】</td> <td>BMI : 25以上</td> <td>49kg以上</td> <td>56kg以上</td> <td>64kg以上</td> <td>72kg以上</td> <td>81kg以上</td> </tr> <tr> <td>【 ふ つ う 】</td> <td>BMI : 18.5~25</td> <td>36~49kg</td> <td>42~56kg</td> <td>47~64kg</td> <td>53~72kg</td> <td>60~81kg</td> </tr> <tr> <td>【 小 さ い 】</td> <td>BMI : 18.5未満</td> <td>36kg未満</td> <td>42kg未満</td> <td>47kg未満</td> <td>53kg未満</td> <td>60kg未満</td> </tr> </tbody> </table>	体 型	判定基準	身長毎の体重目安					140cm	150cm	160cm	170cm	180cm	【 大 き い 】	BMI : 25以上	49kg以上	56kg以上	64kg以上	72kg以上	81kg以上	【 ふ つ う 】	BMI : 18.5~25	36~49kg	42~56kg	47~64kg	53~72kg	60~81kg	【 小 さ い 】	BMI : 18.5未満	36kg未満	42kg未満	47kg未満	53kg未満	60kg未満
体 型	判定基準	身長毎の体重目安																																	
		140cm	150cm	160cm	170cm	180cm																													
【 大 き い 】	BMI : 25以上	49kg以上	56kg以上	64kg以上	72kg以上	81kg以上																													
【 ふ つ う 】	BMI : 18.5~25	36~49kg	42~56kg	47~64kg	53~72kg	60~81kg																													
【 小 さ い 】	BMI : 18.5未満	36kg未満	42kg未満	47kg未満	53kg未満	60kg未満																													
② ひざの曲がり	【 高 度 】	ひざがかなり曲がっている人。※下肢(ひざ)は体位変換しません。※必ずひざ下にクッションを入れてください。																																	
	【 軽 度 】	ひざがやや曲がっている人。※常にひざ上げの状態になります。																																	
	【 な し 】	ひざが曲がっていない人。※通常の体位変換動作(下肢(ひざ)~上体)をします。																																	
③ 発汗	【 多 い 】	常に寝床内がむれる場合。(送風機能「30分【入】→30分【切】」の繰り返しになります)																																	
	【 少 し 】	時々寝床内がむれる場合。(送風機能「15分【入】→30分【切】」の繰り返しになります)																																	
	【 な し 】	特に寝床内がむれていない場合。(送風機能は作動しません)																																	
④ ひえ	【 常 時 】	常にひえ対策が必要な場合。(寝床内を「32℃」程度に維持します)																																	
	【 時 々 】	室温が低い時にひえ対策が必要な場合。(室温が15℃以下のときのみ32℃程度を維持します)																																	
	【 な し 】	ひえ対策が不要な場合。(ヒーター機能は作動しません。)																																	
⑤ 体位変換程度	【 しっかり 】	自動体位変換の動き(角度や速さ)をしっかりへ行いたい場合。(体位変換角度:ふつう<16度)、体位変換所要時間:はやい<45分))																																	
	【 ふ つ う 】	通常はこの設定にします。(体位変換角度:ふつう<16度)、体位変換所要時間:ふつう<60分))																																	
	【 船酔い対策 】	体位変換の動きを抑えたい場合。(体位変換角度:ひくい<8度)、体位変換所要時間:おそい<75分))																																	



警告

使用中、体に異常を感じたり、不安を感じた場合には直ちに使用をやめ、医師や看護師、福祉用具専門員などの専門の方に相談してください。



注意

利用者様の身体状況を確認し、5つの項目を全て入力してください。

(2)アシストモード

リハビリ/CPR マットレス上でのリハビリやおむつ交換や着替えなどの介助をするときに使用します。



マットレスのふわふわ感を解消して、リハビリや介護がしやすいかたさになります。
体位変換実施時はマットレスが上向きになります。

- ※【入】後、約60分でもとのマットレスの状態に戻ります。
- ※【切】後、約5分間圧抜き動作が作動します。

- 体位変換実施時はフラットになります。
※上向きの状態になるまで約3分かかります。
- マット除圧動作は【静止型】になります。
- マットかたさは【ハード】よりさらにかたくなります。
※アシストボタンによる設定内容はマニュアルモードには反映されません。アシストボタンを押す前の設定表示のままです。

背上げ

ベッドを背上げするときに使用します。
マニュアルモードで「超ソフト」や「除圧重視」を使うときはベッドの背上げをしないでください。



マットレスの安定性を高め、背上げ姿勢をサポートします。
体位変換実施時はマットレスが上向きになります。

- ※【入】後、約120分でもとのマットレスの状態に戻ります。
- ※【入】後、約10分間背抜き動作(背中にかかる苦しさを緩和)が作動します。
- ※【切】後、約5分間圧抜き動作(背中にかかる苦しさを緩和)が作動します。
- ※【背上げ】選択前の自動体位変換・体位指定の動作は解除されます。
- ※マットレスが背上げする機能ではありません。

- 体位変換実施時はフラットになります。
※上向きの状態になるまで約3分かかります。
- ※アシストボタンによる設定内容はマニュアルモードには反映されません。アシストボタンを押す前の設定表示のままです。



注意

2時間以上背上げをする場合は、途中で再度「背上げ」ボタンを押してください。
オートオフ機能が働き、2時間でもとのマットレスの状態に戻ってしまいます。

強力除湿

寝床内の湿度が高く、身体がむれそうなときに使用します。



入浴や清拭などで寝床内が通常よりも高い湿潤状態になる場合に使用します。
通常設定では動く・止まるの断続運転ですが、強力除湿は連続運転で送風をします。
※【入】後、約60分でもとの状態に戻ります。



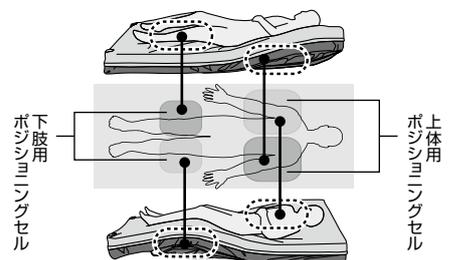
注意

「強力除湿」「発汗」を使用する場合は、P6「設置の方法」を参考にしてシーツを取り付けてください。
※アシストボタンによる設定内容はマニュアルモードには反映されません。アシストボタンを押す前の設定表示のままです。

腰ひねり体位



利用者様の「腰痛の対策」や「内臓機能の維持・改善」の一環として、腰をひねる体位変換を行います。
下肢(ひざ)用と上体用のポジショニングセルで互い違いに身体を変換することで、「腰ひねり体位」にします。
60分間で「右向き」、「左向き」を各1回ずつ行います。
※【入】後、約60分でもとのマットレスの状態に戻ります。



体位変換



昼間は人手での体位変換を行い夜間はマットレスによる自動体位変換を行う場合など、状況に合わせてマットレスによる自動体位変換が必要なときに使用します。



警告

ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げを行わないでください。
※サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。

(3) マニュアルモード ※ 設定変更が必要な場合のみ操作してください。

①「自動体位変換 動作」②「指定体位変換 体位」③「自動体位変換 所要時間」④「自動体位変換 角度」⑤「マットかたさ」⑥「マット 除圧動作」の各項目を手動で設定することができます。

① 自動体位変換動作 右上 ↔ 左上 上向 ↔ 左上 右上 ↔ 上向	② 指定体位変換体位 上向 左上 右上 ひざ上 セミファウラー	③ 自動体位変換所要時間 おまかせ はやい ふつう おそい	④ 自動体位変換角度 おまかせ ふつう ひくい	⑤ マットかたさ おまかせ ハード ふつう ソフト 超ソフト	⑥ マット除圧動作 おまかせ 圧切替型安定重視 圧切替型除圧重視 静止型
--	---	--	-------------------------------------	--	---

①自動体位変換 動作 ……3種類
 ②指定体位変換 体位 ……5種類
 ③自動体位変換 所要時間 ……3段階
 ④自動体位変換 角度 ……2段階
 ⑤マット かたさ ……4段階
 ⑥マット 除圧動作 ……3種類

① 自動体位変換 動作

体位変換の「動作(パターン)」を手動で設定します。かたむく方向は利用者様側から見た方向になります。

動作は【右上】⇔【上向】⇔【左上】の3体位変換を繰り返し行います。
※【右上】から体位変換をはじめます。

動作は【上向】⇔【左上】の2体位変換を繰り返し行います。

動作は【右上】⇔【上向】の2体位変換を繰り返し行います。

※「ひざの曲り」が【軽度】の場合は、自動体位変換の設定をしなくても、ひざは常に上がった状態になります。【高度】の場合は、自動体位変換の設定をしても、ひざは下がったままとなります。

② 指定体位変換 体位

仰臥位や左右の側臥位だけではなく、「セミファウラー位」「ひざ上げ」に対応し、おむつ交換や口腔ケア、安楽姿勢など、目的に合わせて指定の体位変換を行うことができます。

常に上向きになります。

常に左上げの状態になります。(約16度)

常に右上げの状態になります。(約16度)

常にひざ上げの状態になります。(約16度)

常にセミファウラー位で安楽姿勢の状態になります。(背・ひざともに約16度)

※「ひざの曲がり」が【軽度】の場合は、自動体位変換の設定をしなくても、ひざは常に上がった状態になります。【高度】の場合は、自動体位変換の設定をしても、ひざは下がったままとなります。

警告 ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げを行わないでください。
※ サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。

③自動体位変換 所要時間

1回の体位変換にかかる時間の設定を行います。

※利用者様の体重や体型などにより多少時間の変動があります。

■ おまかせ アセスメント&フィッティングモードで設定中にLEDランプが点灯します。
自動的に最適な自動体位変換所要時間で動作します。

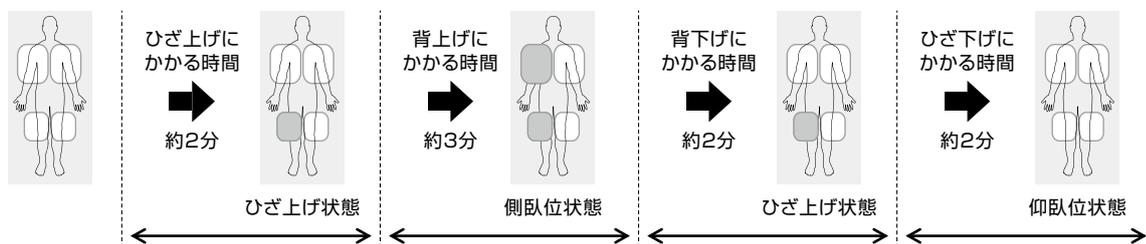
■ はやい 1回の体位変換にかかる時間*が約45分となります。

■ ふつう 1回の体位変換にかかる時間*が約60分となります。

■ おそい 1回の体位変換にかかる時間*が約75分となります。

●自動体位変換の動きと所要時間

■ : ふくらむセル



設定	① ひざ上げにかかる時間 +ひざ上げ状態	② 背上げにかかる時間 +ひざ・背上げ状態	③ 背下げにかかる時間 +ひざ上げ状態	④ ひざ下げにかかる時間 +上向(仰臥位)状態	①~④ 所要時間
はやい	5分	18分	5分	17分	約45分
ふつう	5分	25分	5分	25分	約60分
おそい	5分	33分	5分	32分	約75分

※条件により、時間は若干変動します。

※上記の①~④所要時間は【上向】⇔【右上】もしくは【上向】⇔【左上】にかかる時間です。

【右上】⇔【左上】の体位変換にかかる時間は、【上向】⇔【右上】と【上向】⇔【左上】を合わせた時間となるため、①~④の2倍の時間となり、【はやい/90分】【ふつう/120分】【おそい/150分】となります。

④自動体位変換 角度

体位変換角度の設定を行います。

■ おまかせ アセスメント&フィッティングモードで設定中にLEDランプが点灯します。
自動的に最適な体位変換角度で動作します。

■ ふつう かたむき角度は約16度となります。

■ ひくい かたむき角度は約8度となります。

⑤マット かたさ

マットかたさの設定を行います。

■ おまかせ アセスメント&フィッティングモードと連動してLEDランプが点灯します。

■ ハード 離床やリハビリで安定感が必要な方や、やわらかすぎるマットレスが合わない方などは
こちらを選択してください。

ふつふ 床ずれ発生リスクが低い方はこちらを選択してください、各種臥位において低圧で身体を保持します。

オスカーの標準的な(おすすめの)設定です。

ソフト 床ずれ発生リスク度が高い方や、床ずれのある方などはこちらを選択してください。ふつふよりもさらに低圧で身体を保持します。

超ソフト 難治性床ずれの方、ICUや手術後、終末期ケアなどで体位変換やベッドの背上げができない方、絶対安静の方などはこちらを選択してください、ソフトよりさらに低圧で身体を保持します。

⑥ マット 除圧動作

マット除圧動作の設定を行います。

おまかせ アセスメント&フィッティングモードと連動してLEDランプが点灯します。自動的に最適な除圧動作となります。

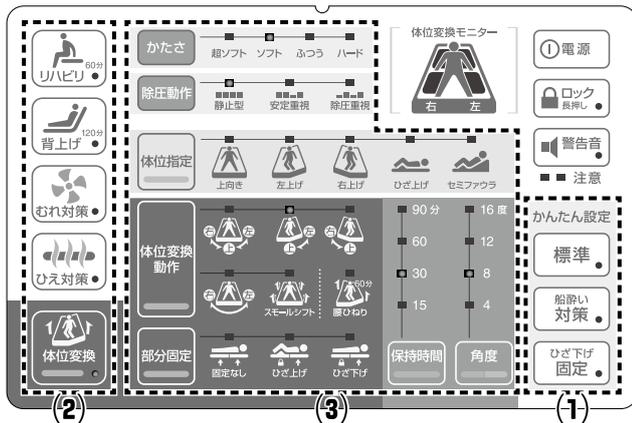
オスカーの標準的な(おすすめの)設定です。

圧切替型 安定重視 安定感を重視したい、なるべく圧切替の動きを抑えたいという方はこちらを選択してください。身体の75%をマイクロエアセルで支え、残りの25%で除圧を行います。
※約5分間隔で4つの動作を繰り返します。

圧切替型 除圧重視 絶対安静時など体位変換が行えない場合で、せめて圧切替だけでもしっかりと行いたい方はこちらを選択してください。ベッド背上げ時は使用しないでください。身体の50%をマイクロエアセルで支え、残りの50%で除圧を行います。
※約5分間隔で2つの動作を繰り返します。

静止型 除圧動作をせず、マイクロエアセル全体が均等なかたさとなります。除圧動作が気になる方はこちらを選択してください。

各種設定方法



■リモコン操作パネル

(1)かんたん設定

利用者様の身体状況から「標準」「船酔い対策」「ひざ下げ固定」の3つの条件から選択すると、機械(エアマットレス)が自動で利用者様に合ったマットレスの設定になります。

(2)アシストモード

日常生活をアシストするためのモード設定ができます。

(3)マニュアルモード

マットレスの動作をお好みに合わせて設定できます。必要に応じて設定してください。

(1)かんたん設定 ※オスカーをご使用になる前に、必ず設定してください。

リモコンの「かんたん設定」ボタンで、利用者様の身体状況に最適な設定にすることができます。

かんたん設定の目安 ※●かたさ=[ソフト]／●除圧動作=[安定重視]が自動設定されます。※指定した設定のLEDランプが点灯します。

- 標準** ●

上体と下肢(ひざ)の両方がかたむいて体位変換を行います。
【適応】●拘縮はないが、自分で動くことができない人

- 船酔い対策** ●

上体と下肢(ひざ)を1ヶ所ずつ小さくかたむけて体位変換を行います。
【適応】●エアマットレスを初めて使用する人
 ●体位変換の動きを抑えたい人

- ひざ下げ固定** ●

下肢(ひざ)は下げたままで、上体だけがかたむいて体位変換を行います。
【適応】●拘縮がひどく、ひざが倒れやすい人
 ●下肢(ひざ)を動かしたくない人

(2)アシストモード

リハビリ マットレス上でのリハビリやおむつ交換や着替えなどの介助をするときに使用します。

リハビリ 60分

マットレスのふわふわ感を解消して、リハビリや介護がしやすいかたさになります。
 体位変換実施時はマットレスが上向きになります。
 ※動作中はLEDランプが点灯します。
 ※約60分でもとのマットレス状態に戻ります。(LEDランプは消灯します)【切】後、圧抜き動作が作動します。

背上げ ベッドを背上げするときに使用します。
 マニュアルモードで「超ソフト」や「除圧重視」を使うときはベッドの背上げをしないでください。

背上げ 120分

マットレスの安定性を高め、背上げ姿勢をサポートします。
 体位変換実施時はマットレスが上向きになります。
 ※動作中はLEDランプが点灯します。
 ※約120分で【背上げ】が自動で解除されます。(LEDランプは消灯します)
 【入】後、背抜き動作が作動します。【切】後、圧抜き動作が作動します。
 自動で解除後は安全のため、必ず【上向き】になります。体位変換が必要な場合は、再度選択してください。
 ※手で【切】後は、もとのマットレス状態に戻ります。
 ※マットレスが背上げる機能ではありません。
 ※120分以上継続してベッド背上げを行う場合は、120分以内に背上げモードボタンを押し直すか、都度ボタン操作を行えない場合は、マットレスかたさを1段かたい設定にしてください。

はじめに
設置するとき
使用するとき
このようにするとき
お手入れするとき
仕様

むれ対策 寝床内の湿度が高く、身体がむれそうなときに使用します。



室温と同じ乾いた空気を足元側から送って寝床内の湿った空気を換気することで、寝床内の「むれ」を対策します。断続運転で足元側から送風をします。

- ※動作中はLEDランプが点灯します。(30分動作・15分停止の断続運転、LEDランプは常時点灯します)
- ※体を冷やすための冷房機能や温度調整機能ではありません。
- ※気温や湿度が低い時は【切】にしてください。

ひえ対策 寝床内の温度が低い(マットレスの表面が冷たい)ときに使用します。



エアセルが冷たい外気で冷やされないように、常温(32℃程度)に維持することで、寝床内の「ひえ」を対策します。マットレス内部からマットレス表面を常温(32℃程度)に維持します。

- ※動作中はLEDランプが点灯します。(32℃程度を保つよう、連続動作します)
- ※体を温めるための暖房機能や温度調整機能ではありません。
- ※ひえ対策で常温維持される範囲は、ヒーターが内蔵されている足元側(マットレスの1/2の範囲)です。
- ※気温や湿度が高い時は【切】にしてください。

体位変換【入】



自動体位変換を行います。(設定した動作を繰り返し行います)

- ※【入】の時はLEDランプが点灯します。
- ※標準設定では以下の設定となります。
 - 角度=12度
 - 保持時間=約30分(3体位変換)

【適応】●自分ではうまく体位変換できない。

- 睡眠を妨げないように、夜間は自動体位変換にしたい。
- 家族が留守にする間、自動体位変換にしたい。

体位変換【切】



【体位指定ボタン】で指定した体位になります。

※【切】の時はLEDランプが消灯します。

- 【適応】●昼間は家族で体位変換したい。 ●好みの体位に変換したい。
- 自動体位変換を止めたい。



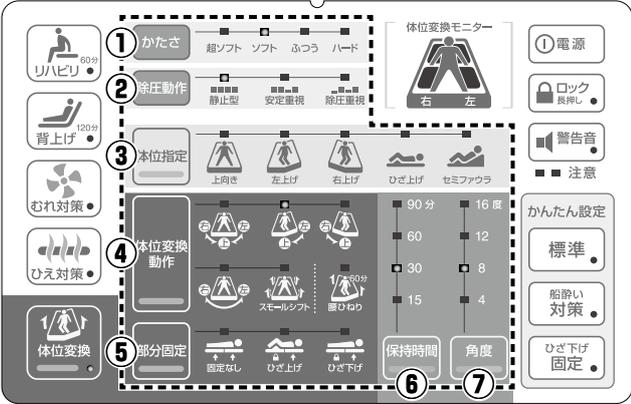
警告

ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げを行わないでください。

※サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。

(3) マニュアルモード ※ 設定変更が必要な場合のみ操作してください。

①「かたさ」②「除圧動作」③「体位指定」④「体位変換動作」⑤「部分固定」⑥「保持時間」⑦「角度」の各項目を手動で設定することができます。



- ①かたさ ……………4段階
- ②除圧動作 ……………3種類
- ③体位指定 ……………5種類
- ④体位変換動作 ……6種類
- ⑤部分固定 ……………3種類
- ⑥保持時間 ……………4段階
- ⑦角度 ……………4段階

※ 指定した設定のLEDランプが点灯します。

● 設定のポイント
 ポジショニングクッション等で体位保持が必要な利用者様には、**かたさ**【ふつう】または【ハード】および**除圧動作**【静止型】または【安定重視】に設定することで安定して体位保持しやすくなります。

①かたさ

かたさ マットレスのかたさの設定を行います。

- 超ソフト** 難治性床ずれの方、ICUや手術後、終末期ケアなどで体位変換やベッドの背上げができない方、絶対安静の方などはこちらを選択してください、ソフトよりさらに低圧で身体を保持します。
 オスカーの標準的な(おすすめの)設定です。
- ソフト** 床ずれ発生リスクが高い方や、床ずれのある方などはこちらを選択してください。ふつうよりもさらに低圧で身体を保持します。
- ふつう** 床ずれ発生リスクが低い方はこちらを選択してください、各種臥位において低圧で身体を保持します。
- ハード** 離床やリハビリで安定感が必要な方や、やわらかすぎるマットレスが合わない方などはこちらを選択してください。

②除圧動作

除圧動作 マットレスの除圧動作の設定を行います。

- 静止型** 除圧動作をせず、マイクロエアセル全体が均等なかたさとなります。除圧動作が気になる方はこちらを選択してください。
 オスカーの標準的な(おすすめの)設定です。
- 安定重視** 安定感を重視したい、なるべく圧切替の動きを抑えたいという方はこちらを選択してください。身体の75%をマイクロエアセルで支え、残りの25%で除圧を行います。
 ※約5分間隔で4つの動作を繰り返します。
- 除圧重視** 絶対安静時など体位変換が行えない場合で、せめて圧切替だけでもしっかりと行いたい方はこちらを選択してください。
 ベッド背上げ時は使用しないでください。
 身体の50%をマイクロエアセルで支え、残りの50%で除圧を行います。
 ※約5分間隔で2つの動作を繰り返します。

③ 体位指定

仰臥位や左右の側臥位だけではなく、「セミファウラー位」「ひざ上げ」に対応し、おむつ交換や口腔ケア、安楽姿勢など、目的に合わせて指定の体位にすることができます。

- 

通常のマットレスの状態にしたい場合は、こちらを選択してください。常に上向きになります。
- 

利用者様の左手側を体位保持したい場合は、こちらを選択してください。常に左上げの状態になります。
- 

利用者様の右手側を体位保持したい場合は、こちらを選択してください。常に右上げの状態になります。
- 

利用者様に軽度のひざの曲がりがある場合は、こちらを選択してください。常にひざ上げの状態になります。
- 

常にセミファウラー位で安楽姿勢の状態になります。



警告

ベッドの背上げをした状態で、体位変換動作を行わないでください。また、体位変換動作中にベッドの背上げを行わないでください。

※サイドレールを乗り越えて転落するおそれや、体位の崩れによる症状の悪化などが起きないか、安全を確認の上、使用してください。

④ 体位変換動作

自動体位変換の「動作(パターン)」を手動で設定します。かたむく方向は利用者様側から見た方向になります。

※体位変換を行う4つのポジショニングセルは、それぞれひとつずつ動作を行います。

- 

動作は【右上げ】⇔【上向き】⇔【左上げ】の3体位変換を繰り返し行います。
- 

動作は【上向き】⇔【左上げ】の2体位変換を繰り返し行います。
- 

動作は【右上げ】⇔【上向き】の2体位変換を繰り返し行います。
- 

動作は【右上げ】⇔【左上げ】の2体位変換を繰り返し行います。上向きの状態で静止しません。
- 

動作は右ひざ(上げ下げ)⇒右上体(上げ下げ)⇒左上体(上げ下げ)⇒左ひざ(上げ下げ)の一連の動作を繰り返し行います。
【対応】●体位変換動作に慣れていない方、体位変換すると夜間眠りにくい方などにお薦めします。

腰ひねり動作の設定を行う場合は、【腰ひねり】ボタンを押してください。

- 

動作は下肢(ひざ)用と上体用のポジショニングセルで互い違いに体をひねることで腰ひねりの体位にすることができます。約60分でもとの設定に戻ります。
※60分間で左右のひねりを各1回ずつ行います。約60分でもとのマットレス状態にもどります。(LEDランプは消灯します)

⑤ 部分固定

体位変換させたくない身体状況がある場合は、部分的に動作を固定させることができます。

- 

通常はこの設定を使用します。固定なしを設定した場合は、通常の自動体位変換を行います。



下肢(ひざ)がやや曲がっている人に使用します。常にひざ上げの状態になります。
※「ひざ上げ」を設定した場合は、自動体位変換時に下肢(ひざ)は常に上がった状態になります。



下肢(ひざ)がかなり曲がっている人に使用します、必ず下肢(ひざ)の下にクッションを入れてください。
※「ひざ下げ」を設定した場合は、自動体位変換時に下肢(ひざ)は常に下がった状態になります。

⑥ 保持時間

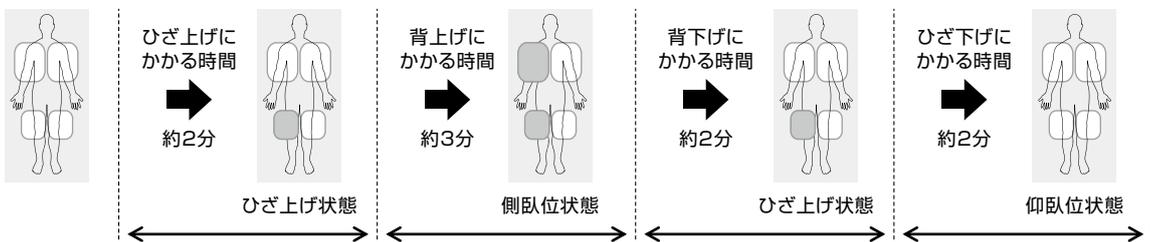
自動体位変換で体をかたむける時間の設定を行います。

※利用者様の体重や体型などにより多少時間の変動があります。

保持時間

保持時間は4段階に設定することができます。利用者様の身体状況に合わせて、最適な時間を設定してください。
※下の表の太枠内の時間が設定できます。

●自動体位変換の動きと所要時間



設定	① ひざ上げにかかる時間 +ひざ上げ状態	② 背上げにかかる時間 +ひざ・背上げ状態	③ 背下げにかかる時間 +ひざ上げ状態	④ ひざ下げにかかる時間 +上向(仰臥位)状態	①~④ 所要時間
15分	5分	15分	5分	15分	約40分
30分	5分	30分	5分	30分	約70分
60分	5分	60分	5分	60分	約130分
90分	5分	90分	5分	90分	約190分

※条件により、時間は若干変動します。

※上記の①~④所要時間は【上向】⇔【右上】もしくは【上向】⇔【左上】にかかる時間です。

【右上】⇔【左上】の体位変換にかかる時間は、【上向】⇔【右上】と【上向】⇔【左上】を合わせた時間となるため、①~④の2倍の時間となり、【設定15分/80分】【設定30分/140分】【設定60分/260分】【設定90分/380分】となります。

⑦ 角度

自動体位変換と体位指定の角度を設定します。

角度

角度は4段階に設定することができます。利用者様の身体状況に合わせて、最適な角度を設定してください。
※利用者様の体重・体型により、角度が変動する場合があります。

体位変換モニター

ポジショニングセルの状態をLEDランプで確認することができます。



- 消灯時：ふくらんでいない状態(フラット)
- 点滅時：調整中(動作中)
- 点灯時：ふくらんだ状態

注意

体位変換の設定を変更すると、安全のため動作に3分程度かかる場合があります。
(体位変換モニターも連動します)

【対象ボタン】



ポジショニングケアの方法

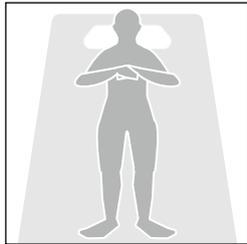
ポジショニングケアのポイント

- ①接触面積を増やすため、身体とマットレスの隙間をポジショニングクッションで埋めます。
- ②しっかりと保持できているか確認するため、すき間に手が入るかどうかが確認します。
- ③皮膚の突っ張り感や衣類のしわをなくするため、ポジショニンググローブで圧抜きをします。

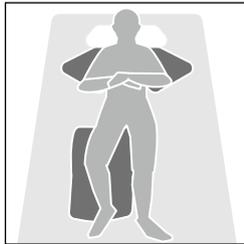
※自動体位変換を行う場合は、ポジショニングクッションがずれないことを確認してください。

※ポジショニングケアとは「体位変換」+「体位保持」であり、体位を入れ換える除圧のための「体位変換」と体圧分散向上のための「体位保持」は別です。

事例①【円背と右ひざ拘縮の利用者様】



体位保持



- ①左右両方の肩の下に入れます。
- ②頭部から頸部の下に入れます。
- ③右ひざの下に入れます。

事例②【上肢下肢拘縮と体軸ねじれの利用者様】



体位保持



- ①左腕の下と胸との間に入れます。
- ②ねじれを示す方向に、左脚の下に入れます。
- ③右脚の下に入れます。
- ④左脚と右脚の間に入れます。

設定のポイント

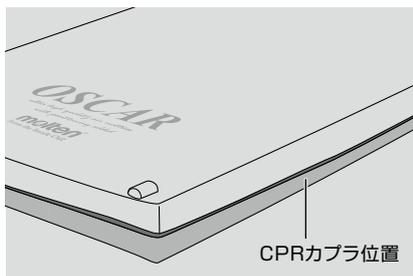
拘縮や変形がある人は、体圧分散を向上するために、ポジショニングクッションによる体位保持が必要です。

その場合は、かたさ【ふつう】または【ハード】、除圧動作【静止型】または【安定重視】に設定することで、安定して体位保持しやすくなります。

※自動体位変換を行う場合は、低い角度から行い、身体に負担がかかっていないことを確認してください。

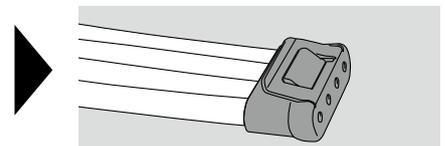
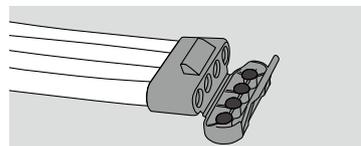
緊急時の対応方法

体位変換中に心臓マッサージなど緊急にマットレスをフラットにする必要がある場合、または体位変換中に停電になった場合は、以下の方法でポジショニングセルの空気をすばやく抜くことができます。



CPRカブラ位置

足元側から見て右側のシートをめくり、CPR表示ラベルそばにある赤いCPRカブラを、取っ手を持って開けてください。約20秒で空気が抜けます。再度使用する場合は、「カチッ」と音がするまで閉めてください。



停電時の対応方法

長時間の停電で、マイクロエアセルの空気が全て抜けてしまったとしても、ウレタンフォームのフィッティング層+底着き防止層があるため、従来のウレタンフォーム系静止型マットレス同等の体圧分散性が確保されており、安心してご使用いただけます。但し、空気が抜けた状態では目標とする体圧分散性能は発揮されません。

また、停電復旧後には停電前に設定していた条件に戻るので、再設定の必要がありません。

発電機を使用する場合は、出力波形が家庭用電源(正弦波)に近いインバータ式70W以上を使用してください。

なお、発電機の使用による製品の故障・破損については、当社は一切の責任を負いかねます。

故障かなと思ったら

現象	確認方法	処置
マットレスがふくらまない 柔らかすぎる 体が沈み込んでしまう	電源プラグはコンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P6参照)
	エアホースが外れていませんか？	エアポンプおよびエアマットレスをつなぐエアホースを確認し、抜けている場合は、差し直してください。
	エアホースが折れていませんか？	エアホースを交換してください。
	かたさ設定が【超ソフト】【ソフト】になっていませんか？	リモコンでかたさを【ふつう】または【ハード】に設定してください。(【Aタイプ】P11、P12または【Bタイプ】P16参照)
マットレスがかたすぎる	リハビリモードを設定していませんか？	リハビリモードを解除してください。(【Aタイプ】P9または【Bタイプ】P14参照)
	背上げモードを設定していませんか？	背上げモードを解除してください。(【Aタイプ】P9または【Bタイプ】P14参照)
	かたさ設定が【ハード】になっていませんか？	かたさを【ふつう】または【ソフト】など、柔らかいモードに設定してください。(【Aタイプ】P12または【Bタイプ】P16参照)
エアポンプの音がうるさい	足元側の下にかたい物を置いていませんか？	マットレスの下からかたい物を取り除いてください。
リモコン操作ができない	操作ロックを設定していませんか？	操作ロックを解除してください。(【Aタイプ】P7または【Bタイプ】P13参照)
	リモコンのLEDランプが消えていませんか？	電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源ボタンを押してください。(P6参照)
寝床内が寒い	ひえ設定が【なし】になっていませんか？(Aタイプ) または【切】になっていませんか？(Bタイプ)	ひえ設定を【時々】または【常時】に設定してください。(【Aタイプ】P8参照) または【入】にしてください。(【Bタイプ】P15参照)
	強力除湿(Aタイプ)または むれ設定(Bタイプ)が 【入】になっていませんか？	強力除湿(Aタイプ)またはむれ設定(Bタイプ)を【切】にしてください。(【Aタイプ】P9または【Bタイプ】P15参照)
	リモコンが寝具の中に入っていないですか？	寝具の中から取り出し、フットボードに掛けてください。(P5参照)
	リモコンの近くに暖房器具はありませんか？	暖房器具をリモコンから離してください。(P5参照)
	リモコンの注意ランプと【超ソフト】のLEDランプが同時に点滅していませんか？	お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。
寝床内が暑い	ひえ設定が【時々】または【常時】になっていませんか？(Aタイプ) または【入】になっていませんか？(Bタイプ)	ひえ設定を【なし】に設定してください。(【Aタイプ】P8参照) または【入】にしてください。(【Bタイプ】P15参照)
	強力除湿(Aタイプ)または むれ設定(Bタイプ)が 【切】になっていませんか？	強力除湿(Aタイプ)またはむれ設定(Bタイプ)を【入】にしてください。(【Aタイプ】P9または【Bタイプ】P15参照)
	フレッシュエアダクトのエアホースがカバーの中で外れていませんか？	カバーを開き、中にあるエアホースを接続してください。
	フレッシュエアダクトの上に防水シートなど 通気性がない物をかぶせていませんか？	フレッシュエアダクトを避けてかぶせるか、通気性のある物を使用してください。(P6参照)

はじめに

設置するとき

使用するとき

このようするとき

お手入れするとき

仕様

故障かなと思ったら

現象	確認方法	処置
ポジショニングセルが ふくらまない	CPRカブラが開いていませんか？	CPRカブラを閉じてください。(P19参照)
	エアホースが折れたり抜けたりして いませんか？	エアホースを接続するか、エアホースを交換してください。
マイクロエアセルが ふくらまない 【2021年1月以降】	エアセルが折れていませんか？	エアセルを整えてください。
	エアホースが折れたり抜けたりして いませんか？	エアホースを接続するか、エアホースを交換してください。

上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)578-9226

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

注意ランプが交互点滅する場合

注意ランプが交互点滅する場合は、エアもれや空気の流れに不具合がある可能性があります。
このようなときには、以下の項目を確認してください。

●注意ランプだけが交互点滅する場合

確認箇所	現象	処置
マイクロエアセル	エアセルの一部から空気がもれていませんか？	エアもれている場合は、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの途中が変形していませんか？	変形している場合は、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの間のスリットに亀裂がありませんか？	亀裂がある場合は、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	マイクロエアセルやエアポンプのエアホースに抜けがありませんか？	エアホースを交換してください。
エアポンプのフィルター	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを交換してください。(P31参照)
エアポンプ	エアポンプの中から空気がもれる音が1分以上聞こえますか？	エアポンプの内部に問題がある場合は、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

●注意ランプが交互点滅し、「自動体位変換動作」と「指定体位変換体位」のLEDランプが同時点滅している場合

確認箇所	現象	処置
ポジショニングセル	ポジショニングセルの一部から空気がもれていませんか？	エアもれている場合は、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	ポジショニングセルにつながっているエアホースが抜けていませんか？	エアホースを差し直してください。
	ポジショニングセルにつながっているエアホースが折れ曲がっていませんか？	折れ曲がっている場合は、お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
CPRカブラ	CPRカブラが開いていませんか？	CPRカブラを閉じてください。(P19参照)

注意ランプが同時点滅する場合

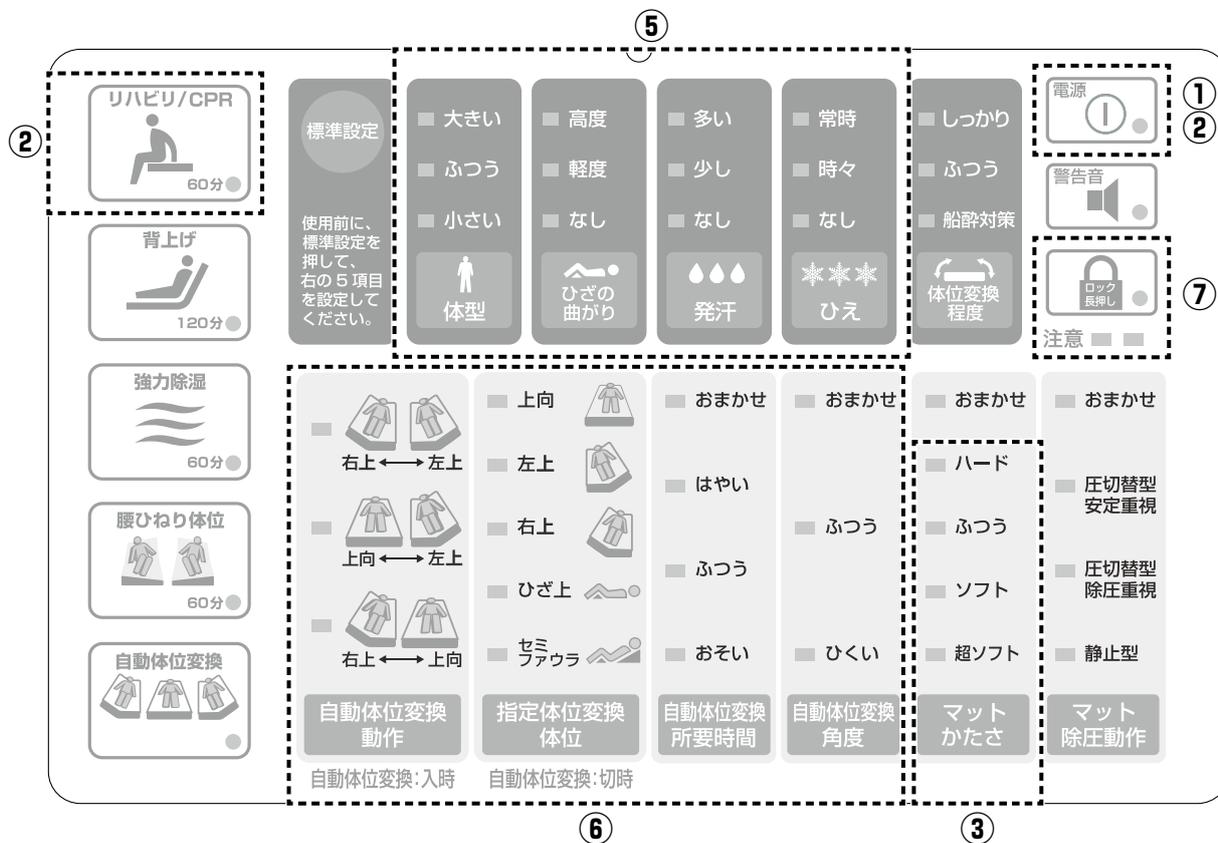
注意ランプが同時点滅する場合は、エアポンプの内部に不具合がある可能性があります。
お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口まで修理に出してください。

ランプの状態	不具合箇所
注意ランプ+マットかたさ【ソフト】が同時点滅	圧力センサーまたはエアポンプの異常
注意ランプ+マットかたさ【ハード】が同時点滅	フォトセンサーまたはモーターの異常
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】が同時点滅	ヒーターの異常
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】+「ひえ」の設定箇所が同時点滅	
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】+「ひえ」設定ランプが順番に点滅	
注意ランプ+マット除圧動作設定箇所のLEDランプが順番に点滅	リモコンケーブルまたは基板関係の異常

冬季などに室温が低い場合は、エアポンプの空気流量・圧力が低くなり注意ランプが作動することがありますが、これは内蔵ポンプのゴム部品がひえたために発生する現象で故障ではありません。
電源ボタンを再度入れ直し10分以上動作させてください。

簡単な定期点検として、リモコンの所定ボタンを押すと、各部(エアもれ、ヒーター、各種センサーなど)の点検を自動で行います。(所要時間：約50分)

注意 セルフチェックを行う場合は、ベッド・マットレス共にフラットにし、利用者が寝ていない状態で行ってください。



操作方法とチェック内容

- ①電源をオフ【切】にします。
- ② ボタンを押しながら、 ボタンを押します。
 注意 のLEDランプが点滅し、セルフチェックモードがスタートします。
- ③最初にエアポンプのチェックを行います。チェック中は の【ハード】⇒【ふつう】⇒【ソフト】⇒【超ソフト】まで順にLEDランプが点灯します。
 ※③で異常がある場合は、その箇所の表示ボタンが点滅し、そこでセルフチェックは終了となります。
- ④次にエアマットのエアもれチェックを行います。
- ⑤チェック中は → → → の順にLEDランプが点灯します。
- ⑥次に → → → の順にLEDランプが点灯します。
- ⑦すべてのチェックで異常が無い場合は、 ボタンのLEDランプが点滅し、 ランプは2個とも点灯した状態になります。(ボタンと ボタンのLEDランプは点滅したままになります)
 ※④以降で異常がある場合は、異常がある部位の表示だけ点滅したまま次の表示へと切り替わります。
- ⑧セルフチェックを中止または終了する場合は、電源をオフ【切】にします。

異常時のLEDランプ点滅箇所と不具合の内容

表示ボタン	LEDランプ表示	不具合内容
マットかたさ	ハード	内蔵モーターなどの異常
	ふつう	
	ソフト	エアポンプまたは圧力センサーの異常
	超ソフト	ヒーターの異常
体型	大きい	マイクロエアセルまたはエアホースの異常
ひざの曲がり	高度	
発汗	多い	
ひえ	常時	
自動体位変換動作	右上・左上	上体用右側ポジショニングセルまたはエアホースの異常
指定体位変換体位	上向	下肢用右側ポジショニングセルまたはエアホースの異常
自動体位変換所要時間	おまかせ	下肢用左側ポジショニングセルまたはエアホースの異常
自動体位変換角度	おまかせ	上体用左側ポジショニングセルまたはエアホースの異常

はじめに

設置するとき

使用するとき

このよう

お手入れ

仕様

注意ランプが交互点滅する場合

注意ランプが交互点滅する場合は、エアもれや空気の流れに不具合がある可能性があります。
このようなときには、以下の項目を確認してください。

●注意ランプが交互点滅し、「角度」のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
マイクロエアセル	エアセルの一部から 空気がもれていませんか？	エアもれしている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
	エアセルの途中が変形していませんか？	変形している場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	マイクロエアセルやエアポンプの エアホースに抜けがありませんか？	エアホースを交換してください。
エアポンプのフィルター	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターを交換してください。(P31参照)
エアポンプ	エアポンプの中から空気がもれる音が 1分以上聞こえますか？	エアポンプの内部に問題がある場合、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

●注意ランプが交互点滅し、「保持時間」のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
ポジショニングセル	ポジショニングセルの一部から 空気がもれていませんか？	エアもれしている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。
エアホース	ポジショニングセルにつながっている エアホースが抜けていませんか？	エアホースを差し直してください。
CRPカブラ	CPRカブラが開いていませんか？	CPRカブラを閉じてください。(P19参照)

●注意ランプが交互点滅し、「かたさ【ふつう】」と「角度」のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
エアホース	マイクロエアセルにつながっている エアホースが折れ曲がっていませんか？	折れ曲がっている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

●注意ランプが交互点滅し、「かたさ【ふつう】」と「保持時間」のLEDランプが点滅する場合

確認箇所	現象	処置
エアホース	ポジショニングセルにつながっている エアホースが折れ曲がっていませんか？	折れ曲がっている場合は、お求めの販売店または ㈱モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

注意ランプが同時点滅する場合

注意ランプが同時点滅する場合は、エアポンプの内部に不具合がある可能性があります。
お求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口まで修理に出してください。

LEDランプの状態	不具合内容
注意ランプ+マットかたさ【ソフト】が同時点滅	圧力センサーまたはエアポンプの異常
注意ランプ+マットかたさ【ハード】と【角度】または【保持時間】が同時点滅	フォトセンサーまたはモーターの異常
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】が同時点滅	ヒーターの異常
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】+【ひざ上げ】が同時点滅	
注意ランプ+マットかたさ【超ソフト】+【ひざ下げ】が同時点滅	
注意ランプ+【かたさ】のすべてのLEDランプが同時点滅	リモコンケーブルまたは基板関係の異常

冬季などに室温が低い場合は、エアポンプの空気流量・圧力が低くなり注意ランプが作動することがありますが、これは内蔵ポンプのゴム部品がひえたために発生する現象で故障ではありません。
電源ボタンを再度入れ直し10分以上動作させてください。

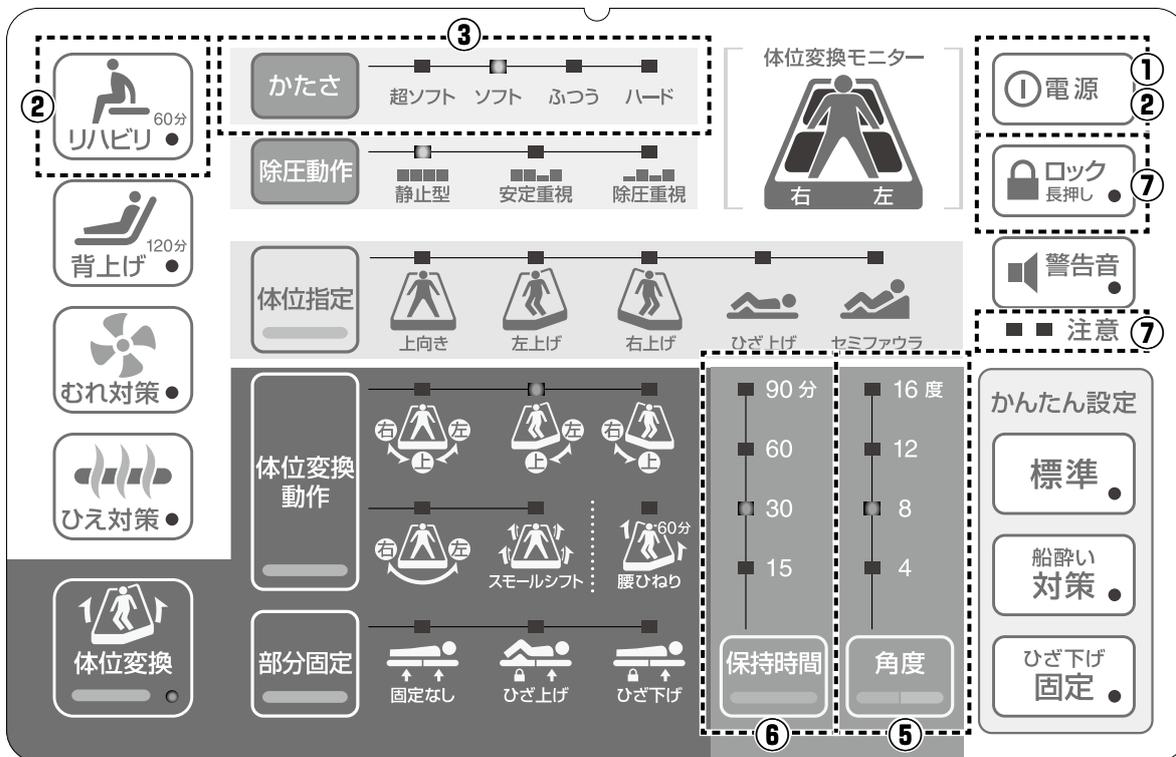
上記の処置で直らなかった場合、またはその他の現象の場合は、お求めの販売店または
(株)モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口までご相談ください。

株式会社 モルテン 健康用品事業本部 お客様窓口
TEL(082)578-9226

〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日／9:00～17:00 ※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く

簡単な定期点検として、リモコンの所定ボタンを押すと、各部(エアもれ、ヒーター、各種センサーなど)の点検を自動で行います。(所要時間：約50分)

注意 セルフチェックを行う場合は、ベッド・マットレス共にフラットにし、利用者が寝ていない状態で行ってください。



操作方法とチェック内容

- ①電源をオフ【切】にします。
- ② ボタンを押しながら、 ボタンを押します。
注意 のLEDランプが点滅し、セルフチェックモードがスタートします。
- ③最初にエアポンプのチェックを行います。チェック中は の【ハード】⇒【ソフト】⇒【超ソフト】の順にLEDランプが点灯します。
※③で異常がある場合は、その箇所の表示ボタンのLEDランプが点滅し、そこでセルフチェックは終了となります。
- ④次にエアマットのエアもれチェックを行います。
- ⑤マイクロエアセルのチェック中は、 の16度から4度まで、順にLEDランプが点灯します。
- ⑥ポジショニングセルのチェック中は、 の90分から15分まで、順にLEDランプが点灯します。
- ⑦すべてのチェックで異常が無い場合は、 ボタンのLEDランプが点滅し、 **注意** ランプは2個とも点灯した状態になります。(ボタンのLEDランプは点滅したままになります)
※④以降で異常がある場合は、異常がある部位の表示ボタンのLEDランプが点滅したまま次の表示へと切り替わります。
- ⑧セルフチェックを終了または中止する場合は、電源をオフ【切】にします。

異常時のLEDランプ点滅箇所と不具合の内容

表示ボタン	LEDランプ表示	不具合内容
かたさ	ハード+角度全部	内蔵モーターなどの異常
	ハード+保持時間全部	
	ソフト	エアポンプまたは圧力センサーの異常
	超ソフト	ヒーターの異常
角度	16度	マイクロエアセルまたはエアホースの異常
	12度	
	8度	
	4度	
保持時間	90分	上体用右側ポジショニングセルまたはエアホースの異常
	60分	下肢用右側ポジショニングセルまたはエアホースの異常
	30分	下肢用左側ポジショニングセルまたはエアホースの異常
	15分	上体用左側ポジショニングセルまたはエアホースの異常

はじめに

設置するとき

使用するとき

このようするとき

お手入れのとき

仕様

お手入れの方法

汚れの落としかた

汚れが少ない場合は、マットカバー表面を市販の中性洗剤やアルコールを布に含ませて清拭してください。

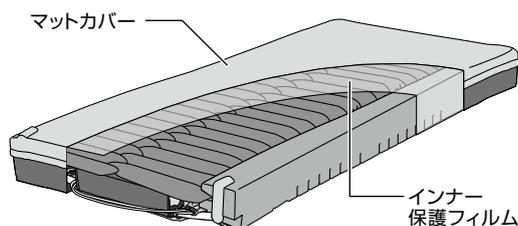
汚れがひどい場合は、マットカバー上部または全体を取り外し、洗濯機などで丸洗い洗浄してください。

洗浄後は乾燥機による乾燥または陰干ししてください。

※マットカバーとエアポンプを取り外してください。

インナー保護フィルムは中性洗剤、またはアルコールを布などに含ませて汚れを取り除いてください。

※インナー保護フィルムは2020年10月～2025年12月の製品に標準装備されています。



⊗ マイクロエアセル・ポジショニングセル・エアポンプ・リモコンなどの内部構成部品は洗浄しないでください。

※ウレタンフォームを洗浄する場合は、事前にお求めの販売店または(株)モルテン健康用品事業本部お客様窓口までご相談ください。

⊗ シナーやベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。

⊗ 酸性洗剤は素材を傷めるおそれがあるので使用しないでください。

⊗ 漂白剤は色落ちや変色の原因になるので使用しないでください。

⊗ マットカバーが縮むおそれがあるのでドライクリーニングはしないでください。

⓪ マットカバーを洗濯機で洗う場合は、キズが付くおそれがあるのでネットを使用してください。

⓪ マットカバーを洗浄・乾燥する場合は、縮むおそれがあるので必ず80℃以下で行ってください。

⓪ 塩素系洗剤を使用する場合は、表示の注意事項および濃度を確認し希釈して使用してください。濃度が高い場合は、マットカバーが変色するおそれがありますのでご注意ください。



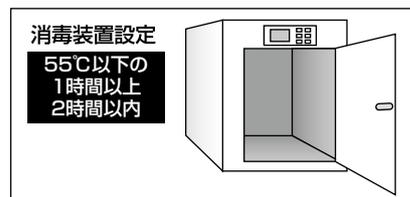
消毒のしかた

消毒薬やアルコールを噴霧または布に染み込ませて清拭してください。

消毒装置を使用する場合は、分解せずそのままの状態でおモテ面を上にして平置きの状態または横向きに立てた状態で曲げずに装置に入れてください。

温度設定は《55℃以下の1時間以上2時間以内》に設定してください。

装置に入れるときは電源プラグを抜き、電源コードとリモコンは電源コード・リモコン収納袋に入れマットカバー内におさめてください。



⊗ マットレスを消毒装置に入れる場合は、変形や破損のおそれがあるので、55℃以上の温度にしないでください。

⊗ マットレスを消毒装置に入れる場合は、サビやカビの発生や故障の原因になるので、蒸気などの水分が残る消毒は行わないでください。

⊗ マットレスをオゾン消毒する場合は、ウレタン層が劣化するおそれがあるので、高濃度(5ppm以上)で長時間の消毒は行わないでください。

お手入れ後の保管

⊗ 変形や破損のおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で保管しないでください。

⊗ 変形や破損のおそれがあるので、10台以上積み重ねないでください。

⊗ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。

⓪ 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋に入れてマットレス内におさめてください。

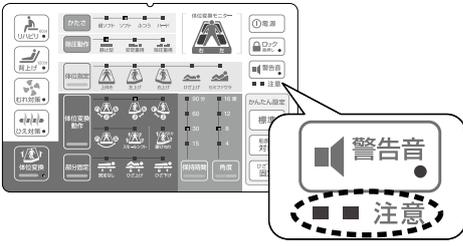
⓪ カビなどが発生するおそれがあるので、汚れを取り除き、よく乾燥させてから保管してください。

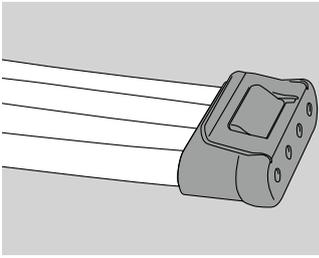
⓪ 材質や色が変わるおそれがあるので、直射日光に当たらない場所で保管してください。

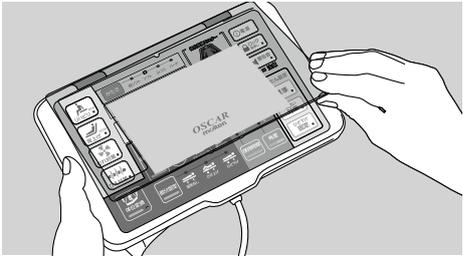
点検チェックシート

●モニタリングの場合などに行う点検要領

1.動作の点検

注意ランプの動作		結果
1		異常あり
		異常なし
注意ランプが点滅していないことを確認します。		

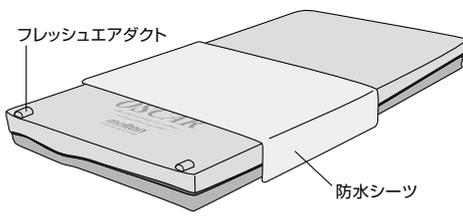
CPRカブラ		結果
2		異常あり
		異常なし
CPRカブラが閉じているか点検します。		

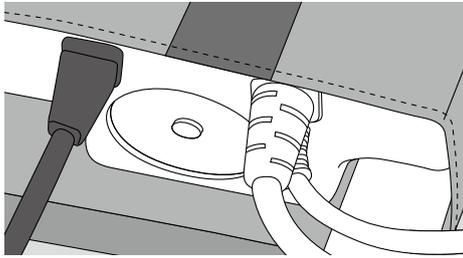
リモコンの動作		結果
3		異常あり
		異常なし
リモコン各部の動作、ボタンの異常などを点検します。 異常ありの場合は、修理に出してください。		

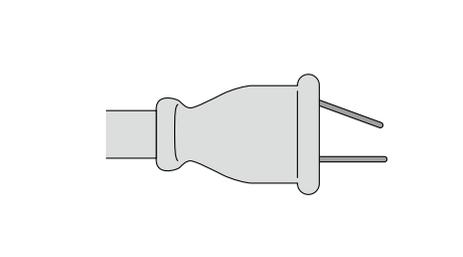
むれ対策の動作		結果
4		異常あり
		異常なし
【むれ設定】にして、足元側のエアダクトから空気が出てくるか確認します。		

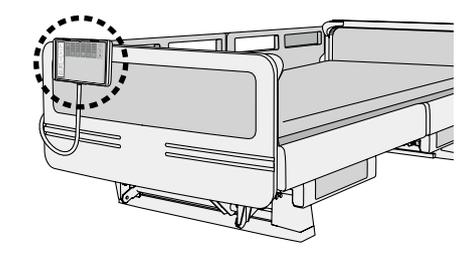
※エアホースなどの折れや外れがないか点検してください。

2.本体各部の点検

フレッシュエアダクト部分の点検		結果
5		異常あり
		異常なし
フレッシュエアダクトが防水シートやパッドなどで隠れていないか点検します。隠れていると空気が寝具内に入らなくなる可能性があります。なお、綿シートなど通気性のあるものはダクトにかぶせてください。		

フィルターの汚れ		結果
6		異常あり
		異常なし
フィルター取付部のフィルター汚れを点検します。 汚れがあれば清掃または交換します。		

リモコンコードと電源コード		結果
7		異常あり
		異常なし
コードやプラグに変形や折れなどの破損がないか点検します。 異常ありの場合は、修理に出してください。		

リモコン設置場所の点検		結果
8		異常あり
		異常なし
リモコンには室内温度センサーが内蔵されています。 寝具の中や冷暖房器具の近くに置いてあるとヒーターの温度が適正に制御されない可能性があるため、フットボードまたはサイドレールに掛けてあるか確認します。		

はじめに

設置するとき

使用するとき

このよう

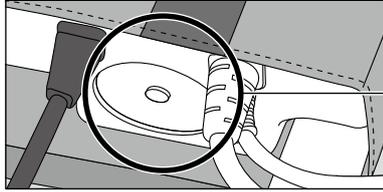
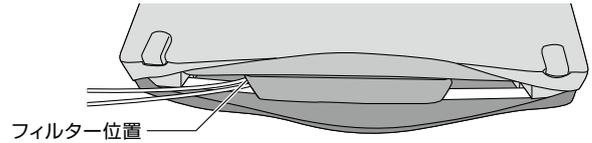
お手入れ

仕様

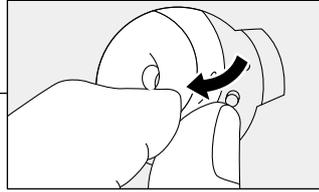
フィルターの交換方法

フィルターの交換時期：1年

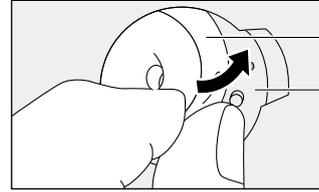
汚れがひどい場合は、新品と交換してください。
汚れが少ない場合は、掃除機やエアガンなどで汚れを取り除き再使用することができます。



① マットカバーを開き、エアポンプが見えるようにします。



② フィルターの端をつまみ、取り外します。



③ 新しいフィルターをフィルター穴に取り付けます。

フィルター
フィルター穴



注意

専用のフィルターを使用してください。1年に1回は、必ず汚れなどのチェックが必要です。
※専用フィルターに関しては販売店にご相談ください。

保管の方法

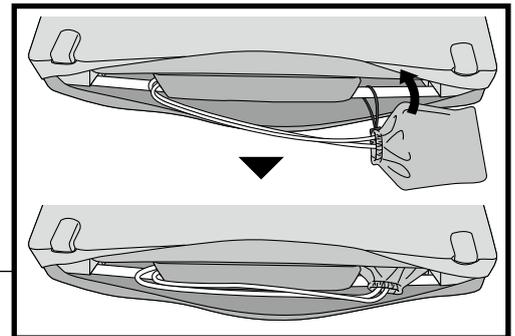
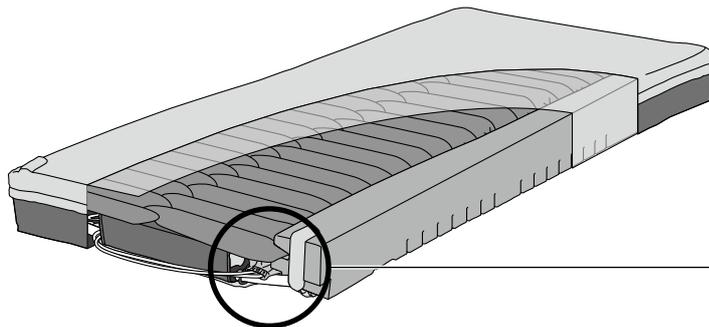
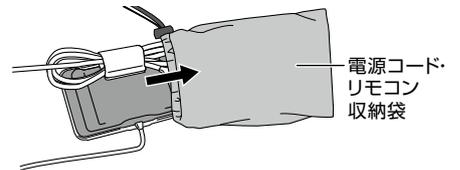
- ⓪ 変形や破損のおそれがあるので、折りたたんだり丸めた状態で保管しないでください。
- ⓪ 変形や破損のおそれがあるので、10台以上積み重ねないでください。
- ⓪ 変形や破損のおそれがあるので、重量物を上に置いたまま保管しないでください。
- ① 材質や色が変わるおそれがあるので、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ① 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋におさめてください。
- ① 変形や破損のおそれがあるので、運搬・保管の際には落下させたり衝撃が加わらないよう十分に注意してください。

注意

浴室付近や湿気の多い場所での使用および保管はしないでください。
※サビ・カビの発生や故障の原因になります。

電源コードおよびリモコンコードの収納方法（長期間使用しない場合）

- ① 電源コードとリモコンを電源コード・リモコン収納袋におさめてください。
- ② マットカバーを開いて電源コード・リモコン収納袋をマットレス内におさめてください。
※マットカバー内のホースに結ばれている電源コード・リモコン収納袋の口を絞る「ひも」はほどかないでください。



- ③ インナー保護フィルムを整え、マットカバーを閉めて、収納完了です。
※インナー保護フィルムは2020年10月～2025年12月の製品に標準装備されています。

仕様

オスカー(ハイブリッドタイプ)

品番 MOSC83(83cm幅レギュラーサイズ)／MOSC91(91cm幅レギュラーサイズ)
MOSC83S(83cm幅ショートサイズ)／MOSC91S(91cm幅ショートサイズ)

- 素材 マット：ウレタンフィルム／フィッティング層・底着き防止層＝高耐久ウレタンフォーム
マットカバー：ウレタン合皮(防水・清拭消毒タイプ) ※制菌加工
インナー保護フィルム：ポリエチレン

83cm幅レギュラーサイズ	サイズ：幅83×長さ193×厚さ17cm	重量：12.0kg
91cm幅レギュラーサイズ	サイズ：幅91×長さ193×厚さ17cm	重量：13.5kg
83cm幅ショートサイズ	サイズ：幅83×長さ182×厚さ17cm	重量：11.5kg
91cm幅ショートサイズ	サイズ：幅91×長さ182×厚さ17cm	重量：13.0kg

- 電力 AC100V 50/60Hz 58W 圧切替時間：約5分
- 電気代目安 約1.5円/日(むれ対策・ひえ対策：なし／マット除圧動作：圧切替型安定重視)
約5.5円/日(むれ対策・ひえ対策：あり／マット除圧動作：圧切替型安定重視)

※インナー保護フィルムは2020年10月～2025年12月の製品に標準装備されています。

- 圧切替型/静止型(切り替え可能)
- 自動体位変換機能
- リプレイメントタイプ(ベースマットレス不要)
- マット・ポンプ3年保証

はじめに

設置するとき

使用するとき

このよう

お手入れ

仕様

はじめに

設置するとき

使用するとき

このようするとき

お手入れのとき

仕様

本製品は国内専用です。
故障や発熱による事故につながるおそれがありますので
海外で使用しないでください。

開発・製造元		株式会社 モルテン	
ISO9001 認証取得 ISO13485 認証取得 <small>※床ずれ防止マットレス・体動センサの設計、 製造および付帯サービスにて取得</small>		健康用品事業本部 www.molten.co.jp/health	
本製品の取扱説明書と使用方法動画は 下記QRコードからダウンロードいた できます。		東京 札幌 仙台 埼玉 名古屋 大阪 広島 福岡 <small>製品他、各種お問い合わせは</small>	
 取扱説明書		〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目10-97-21 TEL.082-578-9226 E-mail:health@molten.co.jp	
 動画で見る製品情報		〈電話による受付時間〉月曜日～金曜日/9:00～17:00 <small>※祝祭日、年末年始、ゴールデンウィーク、夏季休業日など弊社休業日を除く</small>	